

**授業概要**

倫理学について理解するために、倫理学の歴史をたどっていきます。古代ギリシャの倫理学からはじめて、中世、ルネサンス、近世、近代、20世紀、そして現代へと流れていく倫理学の歴史(history)の中にある物語(story)を読解していくことを通じて、偉大な倫理学者の思想について理解していきます。

**授業計画**

|        |                                      |
|--------|--------------------------------------|
| 第 1 回  | 倫理学をどのように学ぶか 西洋倫理学と東洋倫理学、倫理学史と倫理学概論  |
| 第 2 回  | 古代ギリシャの倫理学(1) ソクラテスからプラトンへ           |
| 第 3 回  | 古代ギリシャの倫理学(2) プラトンからアリストテレスへ         |
| 第 4 回  | 中世の倫理学 キリスト教社会とルネサンス                 |
| 第 5 回  | レポートの書き方(1)                          |
| 第 6 回  | 近世の倫理学 バイコン、スピノザ、ライプニッツほか            |
| 第 7 回  | 近代の倫理学(1) カントの実践哲学                   |
| 第 8 回  | 近代の倫理学(2) ヘーゲルの法・権利の哲学               |
| 第 9 回  | 近代の倫理学(3) キルケゴール、ニーチェほか              |
| 第 10 回 | レポートの書き方(2)                          |
| 第 11 回 | 20世紀の倫理学(1) 実存思想(ヤスパーズ、ハイデガー、サルトルほか) |
| 第 12 回 | 20世紀の倫理学(2) 英米倫理学とフランス倫理学            |
| 第 13 回 | 応用倫理学(1) 環境の倫理学                      |
| 第 14 回 | 応用倫理学(2) 科学技術の倫理学                    |
| 第 15 回 | 全体のまとめ                               |
| 第 16 回 | 筆記試験(教場レポート形式)                       |

**到達目標**

- ・倫理学史を通じて倫理学の重要問題について理解する。
- ・倫理学を身近なものと感じ、実践的に行動できるようにする。
- ・身につけた倫理観によって社会規範を再確認してみる。

**履修上の注意**

- ・初心者から中・上級者まで、広く受講できる授業です。
- ・既習内容についてはこまめに復習して定着させるよう努めましょう。
- ・疑問点を日頃から用意し整理しておきましょう。

**予習・復習**

- ・授業で学んだことは必ず復習すること。
- ・次回以降の課題についても、自分で調べられるものは読んでおくなどするのが望ましい。

**評価方法**

- ・平常点(レビューシート等による授業への積極的な参加) 50%
- ・筆記試験(教場レポート形式、あらかじめ提示された課題について論ずる。自作ノート持込可) 50%

**テキスト**

- ・教科書名:『哲学・倫理学の歴史』
- ・著者名:伊野 連
- ・出版社名:三恵社
- ・出版年(ISBN):978-4864875233

その他、パワーポイント、プリント等を配布することもあります。  
参考書等はそのつど教室で指示します。